

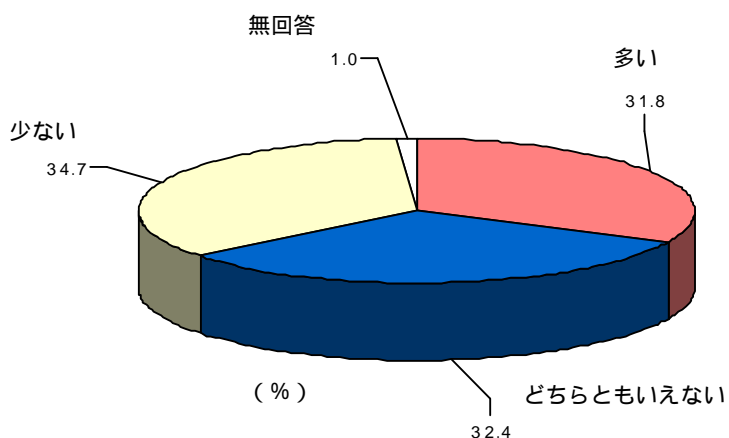
名古屋の「緑」について

都市における「緑」()は、生活に潤いや安らぎを与えるとともに、地球温暖化やヒートアイランド現象等の環境問題を緩和するなど、欠くことができない要素となっています。

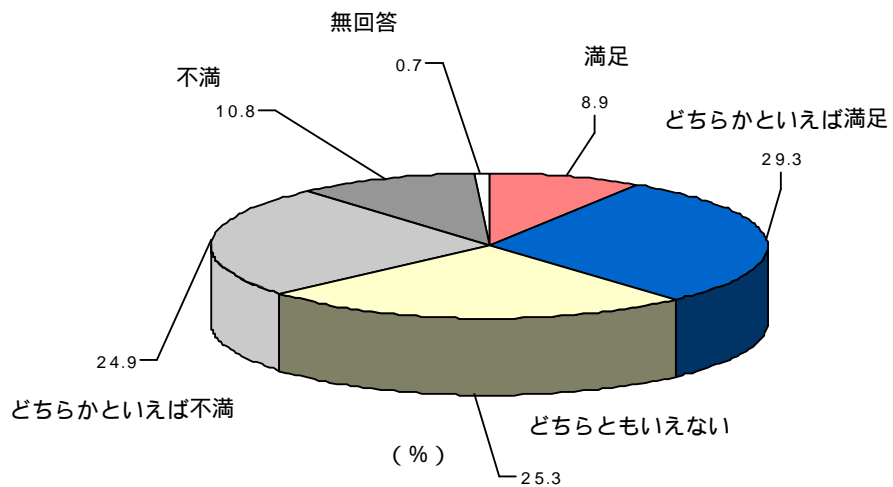
そこで、名古屋の「緑」について市民の皆様の考え方をおたずねし、今後の名古屋の「緑」のあり方を考える上での基礎資料とさせていただくものです。

アンケート中の「緑」とは、樹木だけではなく、野原や花壇等の草花や、農作物も含まれます。

問10 あなたは、お住まいの近くの「緑」が多いと思いますか。(1つだけ)



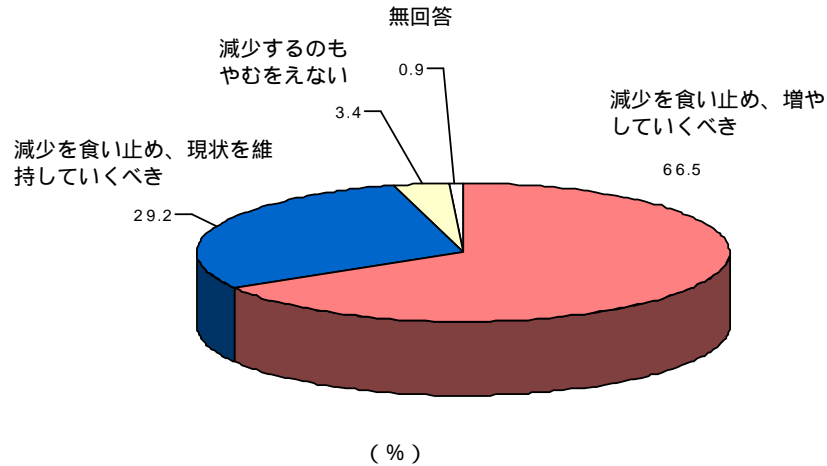
問11 あなたは、お住まいの近くの「緑」に満足していますか。(1つだけ)



名古屋市では平成2年から平成17年までの15年間で緑被率()が29.8%から24.8%に減少し、面積としては1600ヘクタール(およそ中村区一つ分)の緑が失われました。

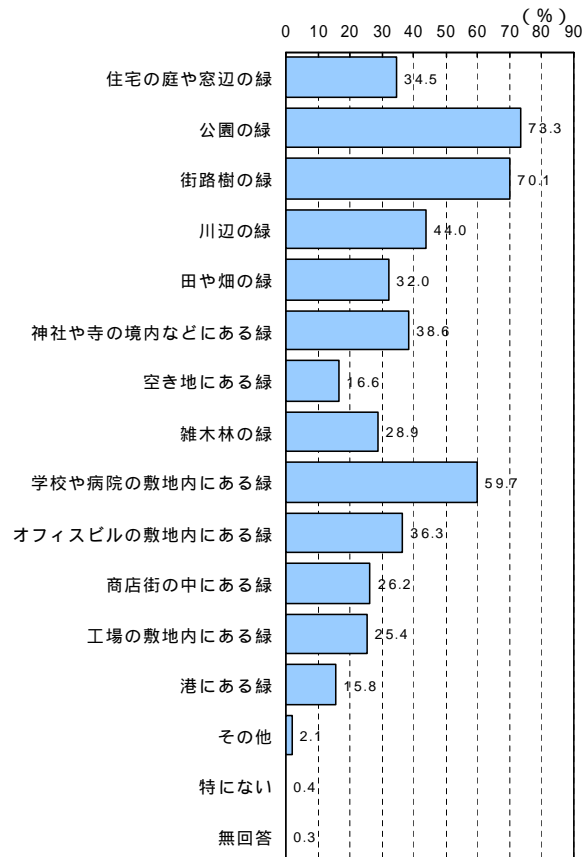
緑被率とは、市域のうち樹木、草・芝で被覆された土地、農地及び水面の占める割合です。

問12 名古屋の「緑」が減少していることについてどう思いますか。(1つだけ)

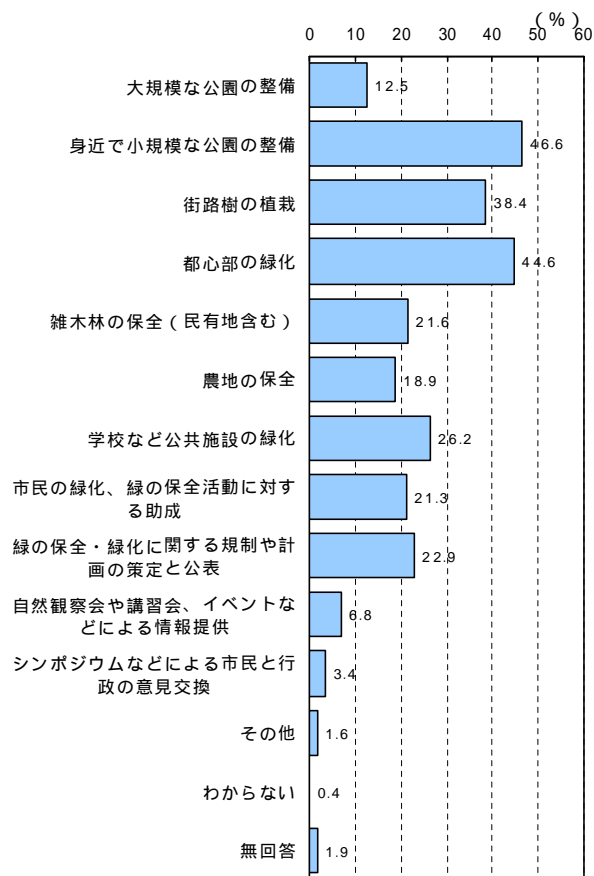


問12で1～2と答えた方(緑を守ったり増やした方が良いと思う方)におたずねします。

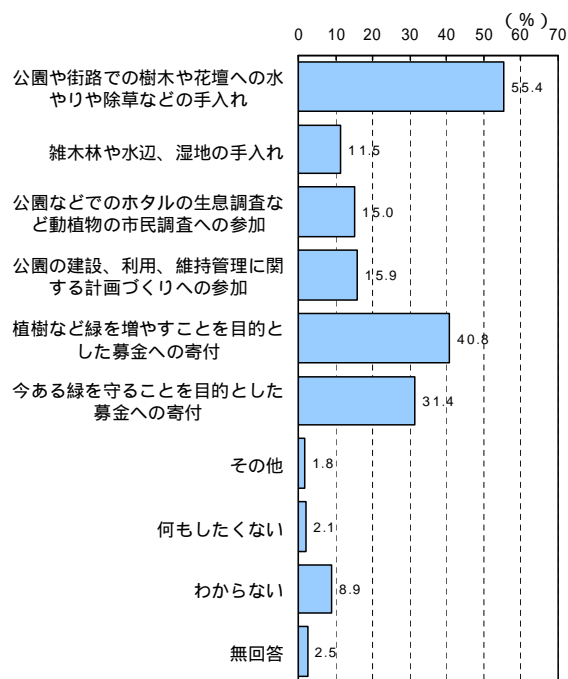
問13 あなたが守ったり増やしたほうがよいと思う緑はどれですか。(いくつでも)



問 14 緑を守ったり増やしたりするために、行政にどのようなことを期待しますか。
(3つまで)

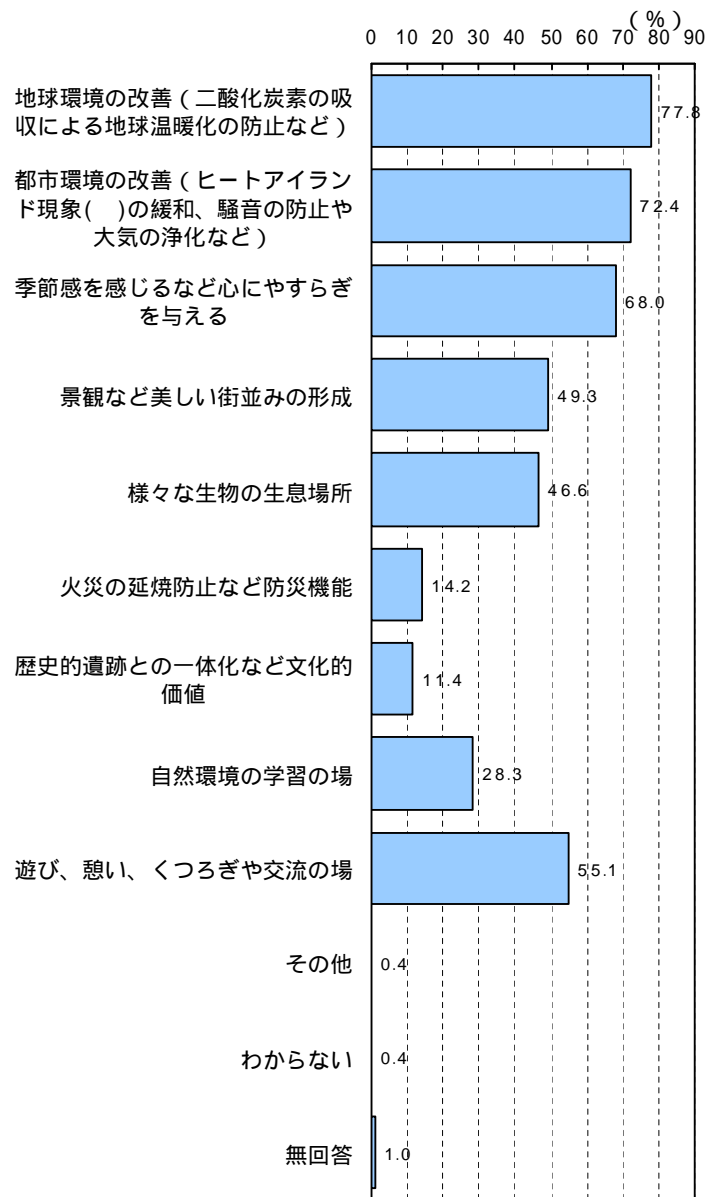


問 15 地域の緑を守ったり増やしたりするために、あなたが行うことができると思う活動はどのようなことですか。(いくつでも)



すべての方におたずねします。

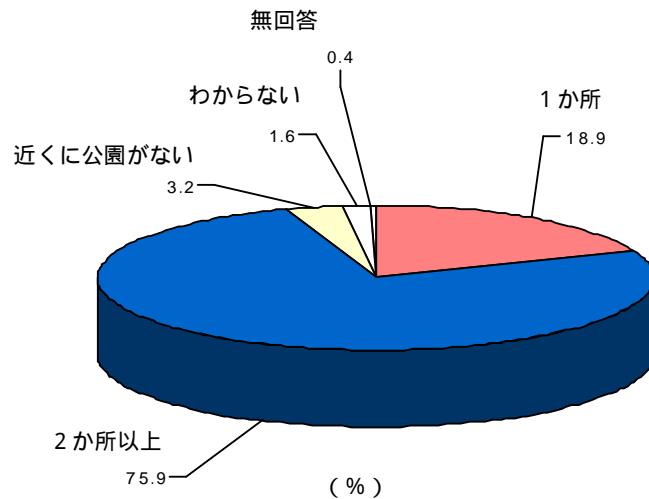
問16 あなたは「緑」にどのような役割を期待しますか。(いくつでも)



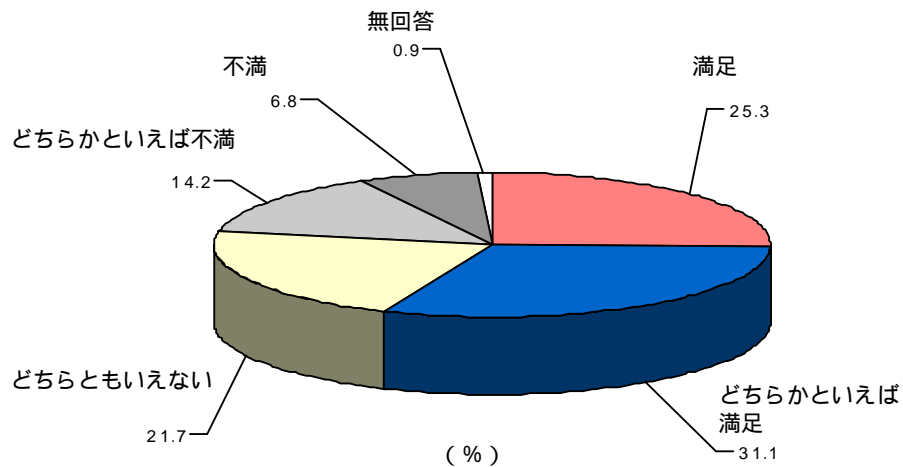
樹木や草花などの緑がある公園は、自然とのふれあいの場として市民生活にうらおいと安らぎをあたえることができ、幼児から老人にいたるまでレクリエーションの場としても活用できます。

また、災害時には避難場所としての機能もはたすことができる重要な都市施設であると考えています。

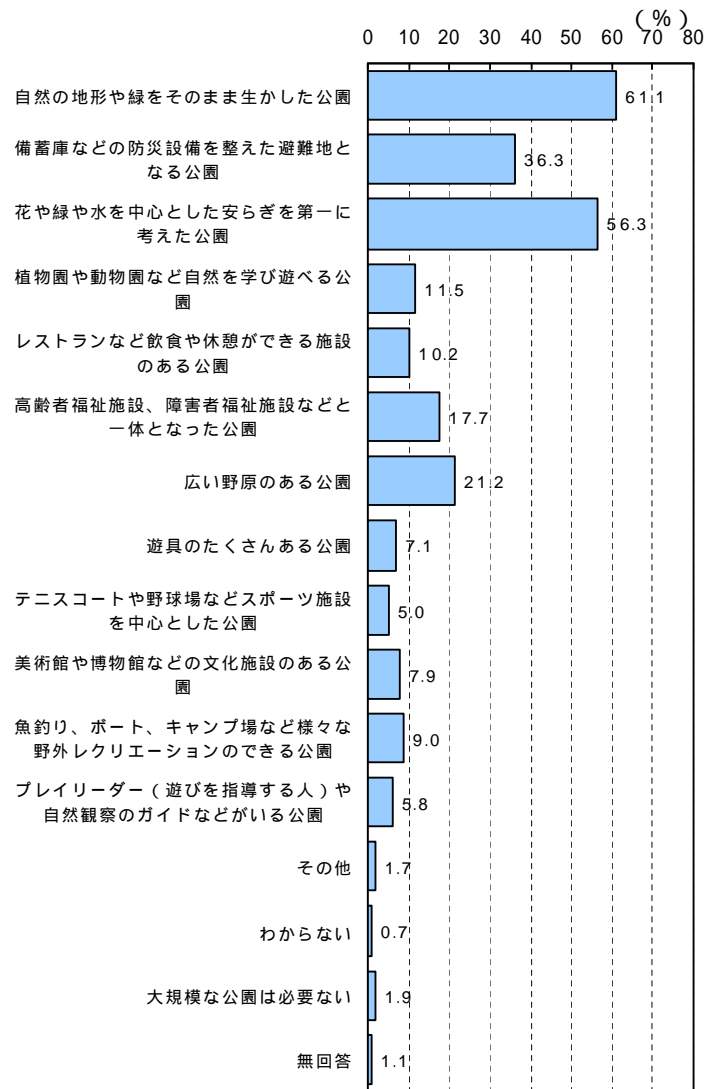
問17 あなたのお住まいの近くに（徒歩15分以内程度）公園の数は何か所ありますか。（1つだけ）



問18 あなたは、お住まいの近くの公園の数に満足していますか。（1つだけ）



問19 大規模な公園を整備する場合どのような公園が望ましいですか。(3つまで)



問20 あなたの身近に小規模な公園を整備する場合どのような公園が望ましいですか。
 (3つまで)

